

町長選出馬!!

—4.25 個人演説会より—

風の
新の
り

第28章
〈特別篇〉

大和の心

新しき仁木の旅立ち

まほろば主人

宮下周平

(司会) いよいよ今回の仁木町長候補、宮下周平より演説申し上げます。

皆さん、お晩です。

この度は、仁木町町長選挙に、立候補したのか、させられたのか、したくないのか、したいのか、よく分からない中で出ました、宮下周平です。よろしくお願い致します。

今日は「大和の心」ということで、お話しさせていただきたいと思えます。

仁木町と私

まずは、「仁木町と私」という前置きをお話したいと思います。

僕は10年間もここにいます。ただ、なんだか未だにこう、正直馴染めないっていうか。

なんでしょうね、これは。

僕の選ぶものは、だいたい何かこう、何かの意図が見えてくるんだけど、今回の最後の人生が、今一つしっくりこないというものがあるんですね。

それは何だろ
うかなというこ
とで、最近わかっ
たことなんです
けど。仁木は本
町と大江と銀山
という3地区あ
るんですよ。

それぞれに出身
地が違うというこ
とは聞いていたん
ですけど、どうい
うふうに違うのか
といえよ。

本町との縁

例えば本町ですね。これ阿波衆つ
て言われていて、まさに阿波（徳
島県）から明治時代に、仁木竹
吉さんという方が移住して、こ

こにいらした
ということをし
聞いています。
阿波と言っ
たら阿波踊り
が有名じゃな
いんですか。



もう一つ有名なのがこの「祖
谷のかずら橋」ですね。（徳島民
謡「祖谷の粉ひき歌」）

僕は「江差追分」が、何とい
うか魂の奥底に響くというか、そ
れで一時習っていたんです。青
坂満さんについていらつしやいま
したよね。あの大名人に習ったこ
とがあるんですけど、その他に、
心に沁みる歌というか、この「祖
谷の粉ひき歌」なんです。なぜ
かこうも切なく、文句なく、何
の疑いもなく、沁みるんですよ。

これ、皆様同じじゃないかな
と思うんだけど、何か心の源流
というか、日本人の情緒そのも
のだからという感じがして、僕は
大好きというか……。それは何か
て言ったら、僕は「心そのもの」

のような気がす
るんですよ。

それと、この
仁木さんは、今
の吉野川市の近
くで、ちょっと離
れたところにこの
祖谷があるんす
けど、だから何か
惹かれてここに来

たつていうのは、意味があるのかな
というふうに思ったんです。

阿波の伝統と宮下家

するとなんとですね、調べる
と、阿波にはあるじゃないですか。
「大嘗祭」と言つて、天皇が代替わ
りされる時に、今上天皇になられ
る時に行われましたけど、その時
の装束を麻で作るんですよ。それ
で麻の糸で「麓服（あらたえ）」と
いうのを織るんですけど、それが
なんとこの阿波なんです。

伝統的に阿波で、この三木氏と
いう家が、この麻を栽培して糸に
して、忌部氏という家がそれを織
つて、麓服にするんですよ。

なんとね、そこに宮下が出てく
るんですよ。どこに出てくるか
というと、忌部氏の子孫というか、

三木と同じ子孫で出てくる。

びっくりしました。私は宮下の
生家というのは、富士吉田でもう
代々長いんですけど、こんなところ
にも、なんか仁木と通ずるところ
があるんだなと思つて。阿波ね。
麻や織物に関わりあるのかも知れ
ない。それで、ああ、なるほど、
こういう因縁が隠れてあるのかつ
ていうふうに思いました。

昔、関西にいた時、すごい心の
通ずる、魂が通ずるというか、人
のいい忌部さんという方と三木さ
んという方がいたんですよ。それ
は疑いもなく信じられ、何か心が
溶け合うんですよ。

なんだろうなって今思ったら、
結局こういうところにつながって
いたというか。

私たちは、こう
やって何気なく集
まっていますけど、
みんな因縁・縁起な
んですよ。その力が
こう寄り集まってい
るといのが、真相
じゃないかなと思
うんですよ。



大江と先祖の因縁

それからもう一つですね、大江地区が中間にあるじゃないですか。あれは長州藩、毛利季光家の祖先が大江広元ですね。その後、山口県から移住してきて、大江村ができたんですよ。



大江広元

西郷頼母一家の婦女子は子供もみな集団自決するじゃないですか。家族でね、最後。そのうえ、長州・薩長は許さないって半年間、その死体の処理、埋葬すら許さなかったんですよ。

それで本町の人口が多くなつて仁木町に変わったんですけど、また大江と私の祖先というか、これまた大変な関係でして、ニツカウキスキーのあそこら辺が黒川町とか山田町といって福島の会津若松出身者の行き着いた地区なんです。

戊辰戦争の悲劇

会津と長州ですね。大激戦が会津若松で、鶴ヶ城の城下で繰り広げられるんですけど、新選組とか白虎隊の話は有名で、最後は町中で死闘が繰り広げられて、会津の家族はみんな殺されたり、切腹したり、家老・



日本テレビ『白虎隊』音楽：堀内孝雄「愛しき日々」



先祖は会津の開拓者

大江とその会津には、そういう

確執が未だにあるんです。僕は全然わからないからそんな憎悪はないんですが、DNAに遺されているんですかね。ところが、この絵の会津の祭り、餅を撒くお祭りで、この屋根に上がっている家が、実はうちの母方の先祖で、倉田と言いう屋敷なんですね。調べていったら、なんと倉田家が検断・大庄屋（村長）だったんです。

そこで、大名・蒲生氏郷が近江から会津に入るに先だって命じられ、会津を開拓した倉田為実がうちの先祖なんですね。だから、会津を開いたとも言えるんだけど、その死体処理とか、お寺建造とか、なにか、大変な思いをしたっていう記録があつて、だから、大江と家の先祖というのは、全く大変なことなんです。

そういうので、何か居づらいような、そういう空気を感じるんですね。

银山との繋がり

今度は银山。何ともなく山里の雰囲気がいまいじゃないですか。



最初に行ったのはこの女代神社なんです。女代神社にお参りした時、「いやー、これ小さな神社だけど、すごいいい神社だなー」と直感的に思ったんですね。

「いやー、これいいわ」という感じで、2度目に行ったらこの神社の横の、このすごい大きな神木が伐り倒されてたんです。中が腐っているっていうんで、倒して切ったのを、そのまま横に置いていたので、「いや、これもつたいないな。戴けないかな」とって野崎議員さんに頼んだのかな。それで我満さんが運んで下さって、家の前に置いていて2、3年干してたんですよ。

スクナヒコと神農

なんとこの木を切ったこの場所の真下にね、「少名彦之命」って石碑が書いてあるわけ。

「ええっ」

と思つてよくみたら、

天照皇大神と、大己貴之命

(大国主神)と

いう大和系と出雲系の主神がちゃんと仲良く鎮座しているんです。

その間に少名彦之命があつて、少名彦というのは実は、この神農です。中国の神農の神様の息子とも言われるし、その神農自身とも言われていて、農業の神であるし、商売の神でもあるし、発酵の神でもあるし、毒草を噛んだり、薬草を噛んだりした薬の神。それから古琴の五弦琴を作ったのもこの神農なんです。みんなまほろばや僕がやって来たことです。



少名彦之命 (神農)



実はですね、その神農が日本の先祖であるという、とんでもなく面白いんですけど。その神農の五男と七男を日本に遣わせたという史実を、実は後で言います。

その女代神社というのは、丹波の国から山川滝五郎さんが持つて来られた。その近くにこの生野銀山というのがあつて、その銀山の名を取つて、鉾山もあるの、銀山としたんですね。

ですからね、ここで決定的に仁木、大江に始まつて、最終的に銀山でつながったんですよ、うちの先祖となるほど、こういうことがあつて、僕は仁木に呼ばれたんだな、と思つたわけですね。



<https://kusanomido.com/>

父方の先祖、宮下家とは

それで、うちの父方の先祖というの、富士山の北麓、富士吉田市に、明見村という集落があるんです。そこに阿祖山大神宮という日本最古の社がありまして、

その代々の神官をうちの先祖がずっと今日までやっているんですね、つないで。84代です、現在。

84代は、一代30年にしたら2520年間ずっと続いてるんですよ。その末裔が僕なんだけど、2500年だったら、だいたい天皇陛下の家系と、系統年代と同じなんです。

この蔵に、徐福が書いたと言われる古文書があるんだけど、『神々の指紋』で有名なグラム・ハンコックも調査に来たんです。なんとその古文書『宮下文書』には、神農

が日本にその息子を遣わしたと、先に話したような驚くべき記述があったんです。

そういう先祖とね、現代に住んでいる仁木との、非常に深い繋がりがあるんだということ。なんで私が、仁木に来て、こんなこと。まあ、一番やりたくないことをやっているのかなということなんです。

私、争い事つてのはすごい嫌いで、今までしたことがないのに、なんであんなに、今、副町長さん聞いていらして、町長さん責める、という風になるのかなという不思議な気持ちでいます。



若き頃の遍歴

それで、さっき家内が言った、経歴のことなんですけど、南高を卒業してから14年間、自分探しの旅。飛鳥から始まって、薬師寺に行ったり、色々な……。



当時ですね、錚々たる歴々たる超有名っていうか、ほとんど皆年寄りじゃないですか。そういう大御所から薫陶を受け、渡り歩いて、そこで学んでいくんですね。

これ言ったら時間がないんで、またいつか。すごい、ちよっと人には言えない、いろんな経験してるんですけど、それは死ぬ前に書くかな

と思ってるんですけど。そんなんで不思議な20代でした。10代から始まったんですけど、これもカットします。

一番やりたくなかった 3つのこと

それで、一番やりたくないのが、一番が商人。金勘定するのが大嫌いなんですよ。それでも、それ絶対やりたくないなっていうのは、実は僕が育ったのは商家だったから、何故か嫌だなと思って、それはまずやりたくない。

それから僕は、理数系が全然ダメで、数学も卒倒するよいうなぐらいダメで、科学者というか、そういう世界はやる訳ないなど。

最後、一番嫌いなのが政治経済なんですね。新聞読んでも一面二面カットして全く読まないというか、もう「これは絶対、俺やらんぞ」という世界だったんですけど、結局3つともやってしまったんですね。なんでこんな嫌なことを神様がやらせるのかっていうのが本音です。

農業がしたくて始めた 商売



それでさっきの家の写真に出てましかけど、とにかく何にもお金ないんですよ。家内と二人で、最初に琴似駅に立った時には、本当に何万円があるかないかという中で、要するにゼロのスタートだったんですね。

ゼロからのスタートで、自転車で豆腐を売ることから始めて、そこから40年間、よくやってきたなと思うんだけど、

「こんなこと嫌だなあ、いつかやめたいな」と思いながら40年間続けたんですけど、それは何故かって言ったら、最後は、自然農法というか、福岡さんですね。



福岡正信という自然農法の大家に傾倒しまして、自然農法をやりたいなと思っていて、それで資金集めのために商売を始めて、結局はもう40年くらい経っちゃって。

不思議と何でもできて しまう



その間やったことは、とにかくいろんなことを。この画像の商品

群、オリジナル商品が化粧品もあれば、墨もあれば、サプリメントもある。ちよっと他所とは変わったことを、そういう雑多なことをやってきたんですね。

とにかく会計とか経営学っていうのをひとつも学んだわけじゃないし、

経済のことなどもう全く興味なくて、会計監査が来ますね毎月。ほとんど寝てるんですね。未だに興味ない。

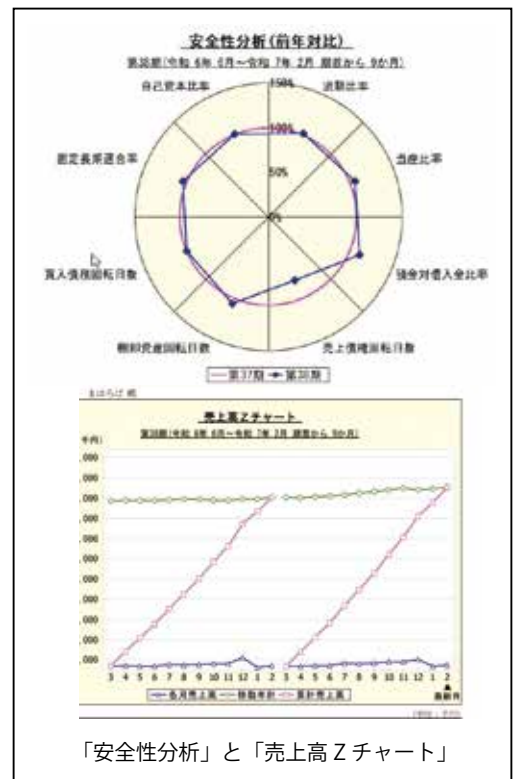
ところがです。不思議と成績はいい

んです。これで40年来、右肩上がりです。と順調に来てるんですね。

だからって何をやってんだ、と言ったら、何もやってないんです。

楽しんでやることで成功してきた

そんなんで、農水省から全国の優良小売店として「会長賞」を表彰されたんですけど、財務管理のTKC会計監査によると、超優良の店らしいですよ。ちょっとすいません、自慢話みたいで。だけど全くそういうことにも興味関心ないんですよ。「ああ、そうです



か」っていう感じで、来ちゃったっていうか、自然に来ちゃったんですね。

一番やりたくない商売が、なんでこんな風にうまくやれるのかも、いまだによくわかりません。規模的には、おそらく仁木役場の職員と同じくらいに従業員60人なんです。だいたい顧客は3000人位かな。もっというと思うんだけど、ぴったりの人口、同じなんです。

だけど、この税収の何倍くらい行ってるんですよ。そういう成功という気持ちもないんですが、とにかく、忙しいけど楽しんでやると感じるんですね。

科学の世界でも抜きん出る？

それから次に科学ですね。これも僕にはとつてもできない世界なんです。こういう浄水器を作ったんですよ。「エリクサー」という。これは、もう25年経ちますけど、これに抜きん出る浄水器って、まだ世界に出てません。そういう評価を得てるし、例えば、今PFASとかPFOSの問題がすごい話題になってるじゃないですか。そんなことは25年前にないわけだから、その防衛対策で作ったわけではないですね。3・11の

原発事故もそうですけど。そうしたら、放射能の残留を調べてくれた人がいらしたんですが、県のラボでは放射性セシウムも出て来ないんですね。PFASも5万リットルで、大体12年間の浄水能力調べたら、これも全く出てこないんです。これは恐らく日本でトップじゃないかな。PFASの試験水を流すんですね。だけど全然検出しないっていうことがあって、「なんじゃこれ」っていわれ。これも全く目的を立てなくても、こういう結果になっちゃうんですね。

牛乳にこの水を入れて

チーズが？

そこで不思議だなと思うんだけど、今度、牛乳にエリクサー水を混ぜるとチーズができてっちゃうんですね。これがとんでもないチーズで、野幌にある食品加工研究所センターに、僕が25年くらい前に研修生として入って、北大・先端研の先生やいろんな先生と議論して、「これどうしてこうなるん





凝乳微生物純見！！ 2000,6,26.



だ」って、「その機序を知りたい」と言って、いろいろ問い合わせたんだけど、わかんないわけですね。ああだ、こうだって。

僕は単純に、「これ微生物じゃないかな」と思って、釣菌^{ちようきん}して菌を採って見たらね、一つだけ凝固したんですよ。僕は当てずっぽで、「これをちよつと培養してやってみた」ということで、北大・生物学の沢田教授にDNAシーケンス解析をしてもらったら、ペニバチルスという菌が発見されました。

これを分析すると、なんと今まで子牛の第4胃のレンネット（凝乳酵素）として2000年以上ずっと同じアミノ酸のチェーンを切る

部位というのが決まっていたんですけど、これだけ特異点で違うということがわかって。だから微生物によるレンネットとして、世界で初めての発見だったんですね。

世界特許もとれてしまった!!

それを発見して、モランさんというフランスのAOC（Appellation d'Origine Contrôlée：原産地統制呼称）のチーズ技師の方に依頼してですね。

びっくりたまげて、フランスで実験して成功しましたし、現地の国立ラボもインフラに应用すべきでないかと、評価提言されたり、そんなこんなで道と一緒に内特許を取り、会社では、世界特許を2000万円かかりましたけど、5力国取りました。道新とかいろんな取材が来て、一時話題になったんですね。

ぜび仁木で、世界初のチーズ作りを

それをそのままにしているのは勿体ないじゃないですか。だけど、その牧場や施設を作ったりするのも大変だったことで、そのままになっていたんですが、今ここにいらっしゃる、札幌の村松先生が関わっておられる都市型ワイナリー・兼レストラン「MILOミロ」さんで、毎日作って皆さんに振る舞っていますので、ぜび食べに行ってください。

これをやりたいんですね、仁木で。レンネットが国産というのがないんですよ。みんなほとんど輸入で、特に狂牛病で問題になっているという事がありましてね。それでほとんどが、いわゆるちよつと曰く付きの遺伝子組み換えレンネットを、多くは使ってやってるんですよ。

だから、真正正銘の安全な国産というのが今、これ、仁木でやればですよ。仁木で、世界初のそういう純国産チーズができるんじゃないかなと思ってるんですね。

最後に、一番やりたくない政治の世界へ

今度はね、一番やりたくないのが、政治なんですよ。もう大嫌いで、虫酸が走るくらい嫌いなのが、3年前に風車問題が出てきたじゃないですか。



余市・古平 18 基の風車は、仁木町に影響する



この問題が起きる前に、全国のみんなに呼びかけて、「懐かしき未来作り」というのを、意欲的にやっていたんですけど、3年前にそこに風車が建つということ。風車の害を聞いていましたからね。「これは反対しなきゃならないな」ということで、反対運動を起こしたのがこの政治の世界に足をつっこむ第一歩だったんですね。

走り出したら止まれない

僕はやりだしたら止まらない性質なので、勉強しました。けどどなにか、不思議と書けちゃったり、分かっちゃったりするんですね。とうとうこの1年半かけて、関電を追い出したっていうか。もう関電は、『関西電力「反原発町長」暗殺指令』など書籍が話題になっていて、何されるかわからないけど、まあ死んでもいいやって、関電の悪口を思いつき書いたりして。ところが、なんか止まっちゃったんですよ。

だけど、多額の寄付金もいただいたり、会社がかけた人件費も含めたら、すごい総額になっちゃっ

て。この3年間にもう、どぶに捨てるというか、それまでかけてやりました。

実は、山線の廃止も大問題!!

今、再エネ問題もあるけど、今度は鉄道の山線廃止。これもずつと調べていくと、とんでもないことだなということが分かって。これも本気になるんですよ。僕は本気になって、石破首相に直訴状を、巻き紙で5メートルくらい書いて、送ったんですね。『風の祈り』の26



章と27章と一緒に添えて。

その解決篇も僕は見えてきて、これはもう絶対解決するなって。

それで今、なんで立候補した時に、山線廃止に対して反対するかというのは、実は答えが見えちゃったからなんですよね。だから一番嫌いな政治に足を染めても、その時初めてわかったっていうか、何でも突き詰めれば、結論まで行っちゃうんだな、ということですね。

3つすべてに答えを出す

だから青春時代が一番やりたくなかったことを3つ全部やったんですよ。やって、結局答えを出したっていう感じですね。

それとどのつまり、一番やりたくない町長を、考えたら。ああいう仕事を僕は、ちよつと「俺の性格じゃ絶対できない」なんて、社長も思ってるし、僕も思ってるんだけど、今なおやりたくないです（笑）。だけど、これも経営や科学の、今までのやり方でやれば、なんとなくてきちゃうんじゃないかっていう思いはあります。

最後は自分がやるしか なくなった

それでね、もうこれ見てくださ
い、カレンダー。決意したのが12
日。本当にね、あの、用意したよ
うに思うで
しょ。だけど、
全くその日ま
で、僕はもう、
「やる」って
いう気持ちは
もう、微塵も
なかったんで
すよ。

だけどね半

年、12人。さすが12人に当たって
みてね、ああ、これいけるって行
くんだけど、最後にひっくり返っ
て、もう全部ダメだったんですよ。

最後、「あんた責任取りなさい」っ
て言われて、「いやー、これやっぱ
りしようがないな」と思って、責
任取って、自分がやりたいからやっ
たんじゃなくて、責任上、出ざる
を得ないな、ということですね。

出馬表明が道庁の記者
クラブでやってるのが14

日ですよ。14日



15日はもう新聞に出ちゃったし、
22日は告示日、今演説会が25日
です。あさって投票って、「どっち
転んでもいいな」っていうのが、実
は今の心境です。



できれば通ったら、またみんな
の思いが、僕らが考えているマニ
フェストも早く実現できるなとい
う感じだし、社長が言うように「落
ちることを祈っています」と、そ
れもいいかなという、どっち転ん
でもいいんです。(笑)

必勝より大和

それでね、ほとんどの戴くお酒
に書いてあるじゃないですか。箱
の熨斗紙に、「祈必勝」って書いて
ありますよね。だけど不思議とね、
希望してないから、「まあどっちで
もいいや」と思った時に気付いた
んですよ。だけど「これは宣言し
たからには、やらなきゃならない
なあ」と思うものの、その時わかっ
たのがこれですね。「祈大和」。



勝敗を超えた世界があ る

よく僕が引き合いに出す、あの
「まほろば」っていう対ですね、こ
の弟橘媛が、入水する心境と、楠
公さん（楠木正成・正行父子）が
負け戦で死ななきゃならない、死
ぬことを覚悟して、桜井の訣別で
ね、桜井で親子が決意し、湊川で
死すって覚悟。その心境がわかっ
たんですね。なんでかっていう。



要するに自分の身を捨てて、負
けるのが分かってて、死んじやつ
たり、戦いに臨むという心境です
よ。これはね、当事者じゃないと
わかんない、ということがわかつ
たんですね。

それは何かといったら必勝じゃ
ないんですよ。勝つとか負けると
かじゃないんですよ。それを超え
たところの世界があるということ
が、わかったんですよ。



まさにそれは何かというと、「和を以て貴しと為す」ということなんです。聖徳太子が、物部と蘇我の戦いの中で、血まみれの中で、最後の答えは十七条の憲法で、「和を以て貴しと為す」の、「和」というのが、実はこの「大和」なんです。

だから「祈る大和」なんです、
「大いなる和」。
「これだな」と思ったんですね。
だから、勝敗とかね、当落じゃないんですね。
そういう世界があるんですよ。

勝敗とか当落を超えた世界があるんだな、と。

経験して初めて分かった「大和」の世界。だから、相手を蹴落とすとか、相手と対立するとか、じゃなくて、相手も共にこう、和するとか、どっちが死んでも、勝つても、負けても、同じだよと。

で、抱き込むというか、そういう世界というのが別次元であるということ、これを、これは貴重な体験でしたね。

だからね、何でも当事者にならなければ理解できないんですよ。理解できないのが、やっぱり一歩も、二歩もね、そのことに踏み込まないとね、人間ってのは分からないんですよ。

それが「大和」ですね。

「大和」ってのは、これ、大和って読むんですね。これが日本の心です。

大和というのは、おそらく大和という意味と、読みが合致した素晴らしい言葉で、今日「大和の心」に気付いたというのが、実はそういう意味合いだったんですね。

公約に掲げた3つの問題

公約とマニフェストにある、風車反対と、鉄道の山線廃止と、いじめ問題を直視するということがなってますけどね。

これ実はですね、現実的に前面にあるんだけど、後ろではつながっ



当事者の意識

公約とマニフェスト

- ① 風車反対運動 自然と環境
経済主義(利権)
- ② 鉄道山線廃止 国民の体
資本主義(効率)
- ③ いじめ問題直視 国民の心
歴史観無視

ている、ある種、精神世界なんです。すよ。

風車は利権問題

風車に反対して来たじゃないですか。これ完全にね、なんだかんだと言っても、煎じ詰めれば環境破壊ですよ。自然破壊ですよ。

それが生理的に嫌なんです。これは完全に事業者の利権問題で、経済主義の、見えないところで陥る業ですね。いわゆる儲け、人間の欲の醜さということ、で、風車問題に反対してきたわけですね。



山線問題は効率主義の弊害

それから鉄道の山線廃止というのは、資本主義の効率主義ですよ。赤字か黒字かという反対ですね。当然経済的に鉄道を廃止するということは、これは効率悪いんですから目に見えたところですね。だか

そのものを、自分たちが「そのものになって、そのものを見る」

ら、これはもうみんなバスを選択したり、何かを選択する。目の前の鉄道赤字だから、これ切って捨てようっていうのが、その判断の基^{もと}だけど。大きな目で見ると、これは間違ってるんですよ。これ後で話します。

いじめは当事者意識の欠如



そして、なんで唐突に、全く関係ない、「いじめ問題を直視する」とかということなんです。これも実はとてもでないことで、戦後ですね、お上^{かみ}が過ち^{あやまち}というか、見誤りをしてきたな、ということですね。これみんなね、当事者意識というのが欠落しているからなんです。

という眼ですね。

そういう直感力というのが、日本人から失われたことです。

わかりますか？

「そのものを以て、そのものになって、そのものを見る」という、日本の伝統的な、仏教的には妙觀察智^{みょうさくしち}というか、その知恵なんです。そういう精神が失われてきたために、今こういう疲弊、物質の目に見える世界だけで判断している。黒白^{くはく}をつけちゃうという、この浅慮^{せんりょ}浅薄^{せんぱく}の熟慮^{じくりょ}の無さというのが、今の世界が陥っている疲弊であるし、欠陥ですね。

対立を超える

これは「山線どっちを選ぶか」ということを選挙ビラで出しましたけど、結局反対するというのは対立。対立するけど、だけど対立して、勝敗あっても、もしこれが存続するということは、止揚^{ちやう}というか、アウフヘーベン^{アウフヘーベン}して、相手のためにもなるということなんです。win・win^{ウィン・ウィン}の関係で、今は見えなけれど、相手のためにもなるということですね。

②山線廃線、反対！ 存続、賛成！

対立 → 止揚
部分 ↔ 全体



廃線は地方の死につながる

それから、地方のローカル線をカットするということは、人間で

言えば毛細血管とか、末梢神経とか、血管・リンパ管等を断絶することなんです。その治療だけでは機能しないじゃないですか。

だから、ちよつと見たら全体観というか、俯瞰^{ふくかん}して見たら、やっぱりその人のためにはならない。絶対に死を迎える、死を早めるだけのことで、地方創生には絶対に断絶しちゃいかんことなんです。全体が見えてないんだから。この全体のインフラが「社会的共通資本 (Social Common Capital)」なんです。

智慧の欠如が危機を招く

だから、そういう気付きっていうのが、今もう国民全体ができない。

特に、首長とか議員とかが、それが見えてないっていうか。

それはどうしてかというところ、「善知識^{ぜんしち}」って、昔仏教でもなんでもね、やはり知恵袋^{ちえづか}というか、そういう、透徹^{てうてつ}した眼^{まなこ}というかね、全体を見渡せる、その見えないうところまで見渡せる、智者^{ちし}という人が、国に今、本当にいなくなっただけなんです。そういうことだと思います。

いじめの根本解決とは？

それでね、第3に掲げている「いじめ問題」なんですけど、これはみんなね、臭いものに蓋をして、解決できないから。学校も、親御さんも、町も、道も、国も、どうしようもないんですよ。解決法がなくて。

だけどね、これ解決法があるんですよ。

それが、この李登輝っていう台湾の、戦前の日本教育で、統治を受けた時代に育った方なんですけど、この漢文ですね。この「我これ、我にあらずの我」というか、要するに「**私は私でない私である**」という、訳がわからない禅語ですね。禅問答ですよ。

「私は私でない私」で、わかります？ わかんないでしょ。

だけどね、これはなかなか深い含蓄ある言葉で、「私はこの私ではない。あなたであり、自然である」という「全体が私である」という、非常に深淵な哲学ですね。

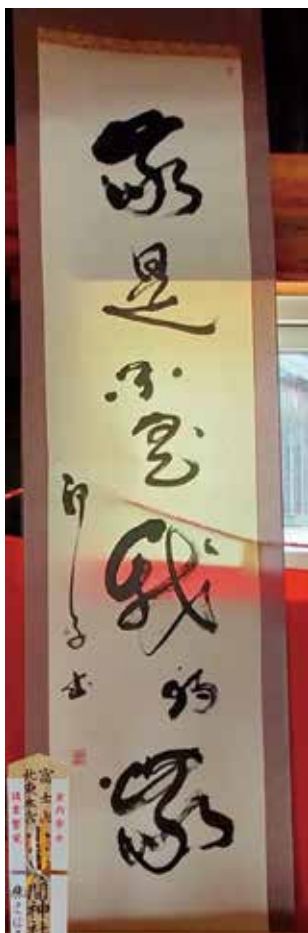
同体同悲

これ言ってみればですね、この『歎異抄』の親鸞の言うところの、「**悲しみは悲しみを知る悲しみに救われ 涙は涙に注がれる涙に助けられる**」(金子大栄)

要するに、「その悲しみというのは、同等の悲しみを体験した人ではないとわからない」ということですね。そしてその人があれば、慰められるということですね。



親鸞上人



我是不是我的我 (自書)

そういう悲しみの涙というの、同じような悲しみの涙を流す人によって、共感できるということですね。

僕の『続々倭詩』にもあるんですけど、「**常懷悲憾心遂醒悟(常に悲憾を抱けば、心ついに醒悟する)**」悟るって言うんです。常にあの悲しみの思いをずっと抱いていれば、ついにね、悲しみとか喜びとか、それを超えたところで、その心はついに悟るっていう、悟りに至るって言うてるんですよ。

これ、座禅瞑目したり念仏したりということではなくて、悲しみを悲しみのままでいくと、悲しみがわかるということ。つまり「**同体同悲**」なんです。人の心がわかるということ。人の悲しみを、その人そのものになって悲しみがわかるという境地なんです。つまりね、いじめとか言うのは、その逆じゃないですか。

そうじゃないですよ。本当に悲しみ、その人のそのもの、その心、その身になって、初めてその人の、なんていうかな、深いところがわかってしまうということですね。

仏教でも言う、日本の心って

うのは、僕はそこだと思えますね。観念ではないのです。それが情緒の核心。

『日常の五心』

それでね、この李登輝元総統がですね、日本のこのありふれた言葉の中に、それを見出すんですよ。

『日常の五心』という中にね、「あつこれだ」って



わかれたんです。自分がこう推し進めていきたいその精神運動って、実はこうなんだっていうことを、彼は知ってますね。

ちよつと、みんなと一緒に朗読してほしいんですけど、いいですか。「はい、ご一緒に」

『日常の五心』

- 一、はいという素直な心
- 一、すみませんという反省の心
- 一、おかげさまという謙虚な心
- 一、私がいまという奉仕の心
- 一、ありがとうという感謝の心

風の 新リ

そういう心持ちでやらない限りは、絶対解決しない。

これに要するに、この優しい日常、誰もが言っているような、この言葉がね、まさにその日本そのものであり、日本人そのものであり、和合の言葉、大和^{やまと}、大和^{だいわ}の言葉であるということですね。

いじめは私たちの鏡

だからいじめの問題については、これは子供を誰がいじめたんだとか、誰がいじめられたということではなくて、これはまさに親の問題である。要するに親が鏡というか、子供に映るんですね。

それは、その親は祖父父母の鏡で、それが映される。それが家族の問題、町の問題。

だからね、町はこれから逃げることなく、これを真正面に捉えて、自分も我が事のようにこれに取り組む。いや、取り組まなければダメです。

誰がやったのかってね、あれ犯人捜しするんだよね。犯人は自分なんですよ。



これは全てに通ずる解決法

だから、じいちゃんも悪かった、ばあちゃんも悪かった、父ちゃんも、母ちゃんも悪かったという気持ちで、子どもに寄り添わない限りは、解決できないんですね。だからこれは町の問題、全体の問題でもあるし、地方の、北海道の問題でもあるし、国の問題でもある。

だから何が解決かって言えば、

国民問題なんですよ。

国民全体が、取り組まなければならぬということ、要するに一切の諸問題はここから始まるんです。

だから風力発電とか、再エネとか、鉄道の問題。これはね、解決法ないんですよ、言ってみれば。

解決法があるとしたら、ここだけにあるんですよ。

いじめ問題の解決法が、そんなんですね。

1円で働きます

それでね、どうしたら訴えられるかなってね、やっぱり無報酬で行くしかないなと思ったわけです。

だからと言って、お金があるわけじゃないんですよ。いわばカツカツの生活してるんだけど、無報酬で言ったらね、なんか、寄付金扱いで駄目らしいんですね。

それで1円でやろうってことになって。まほろばの会長も辞めな



きゃならないから、本当に1か月1円なんです。

だから畑の大根かじってね、母ちゃんの方が金持ちですからね、そういう意味では。

母ちゃんね、3万円なんですよ。何が3万円かって言ったら、畑の給料、農家の

代表としての給料が1か月3万円。

僕なんぼ貰ってるかって言ったら、ボランティア。ゼロなんですよ。母ちゃんのすねをかじってって言っても、母ちゃんも金ないし、どうやって生きていけばいいか、っていうのが。余裕で1円じゃないんですよ。

もう、すねをかじり、お互いかじり合って1円なんです。みんな助けてくださいね(笑)。



最大の悲劇は、善人の沈黙

それで、トランプ大統領は「世界は、悪を行う者によって滅ぼされるのではなく、それを止めようとしないうちに傍観者によって、滅ぼされる」と最近言いましたけど、この元はこのマーティンさん（キング牧師）の言葉で、「最大の悲劇はね、悪人の暴力ではなくて、善人の沈黙である」と。「沈黙は暴力の陰にかかれた同罪者である」と言って、最後は死んでいくんだけど、僕は仁木の皆さんにも言いたいわけ。

「仁木の皆さん、沈黙しないで立ち上がってください」と。

今まで、地盤とか、血縁とか、組織票で、まあこっちに入れるとか、いろいろ運動したりするけど、それじゃね、絶対発展しない。進展するっていうかね、開かないんですよ。扉。心の扉が開かない。だからね、沈滞するんですよ。腐っちゃうんですよ。腐敗する。



<https://www.nikkei.com/>



<http://www.sho-shinji.org/>

勇気を持って一歩を

だから、自分が、「あなた自身身どうなの？」っていう生き方を、勇気を持って、傍観しないで、一歩から歩いてくださいっていうことなんです。それが清き一票ということなんです。自分が自立しなきゃダメなんです。

周りがそうだ、親戚がそうだ、母ちゃん、父ちゃんがそうだ、っていうんじゃないで、自分で考えて、自分の足で立った一票を大事にされてくださいということですね。それじゃないと仁木は開かないんですよ。

ラブ・ツリー仁木



仁木町は、まさに仁木だから「仁愛」じゃないですか。愛、愛、ラブ・トゥリー。

それでね、ラブはね、マザーなんです。母なんです。だからマザー・ツリーでもあるわけ。

ここなんです。なぜマザーかってね。このマザー・ツリーっていうのは、こちらの甲田さんの奥さんにも教えられたんだけど、スザンヌ・シマードさんだったかな？

アメリカの女性、カナダ生まれの原始林で育った人ですけど、その人の研究によって、本当に半径50 km、100 km先の木を育ててるんですよ。このマザーツリー、でかい木が、地下茎で。菌根菌（Mycorrhizal Fungi）と呼ばれる微生物のネットワークで交換し合ってるんだよね。それが本当に科学的に証明されたんですよ。

だからね、これは別段、観念でも、美しい表現でもなく、事実なんです。マザー・ツリー。これがね、団体同悲ってことなんです。

マザー・ツリーのスピリット

要するに自分だけじゃなくて、人をも生かす生き方。抱え込むっていう、そのマザー・ツリーの精神っていうのが、要するに「お母さんの心」ですね。

母親っていうのは、子供のためには尽くすじゃないですか。身を削って、切って、尽くすじゃないですか。

それが、マザー・ツリーのスピ

風の祈り

リットですよ。
だからここに、もうその本当に
仏教的な悟りもあれば、神道的な
行もあれば、ヨーロッパのキリス
ト教的な祈りもあればですね、全
てはその同体同悲の「心」じゃな
いかなと思うんですよ。
そういう意味では、マザー・ツ
リーのね、仁木っていうのは素晴
らしい名前の町だなあと思うん
ですよ。そう思いませんか？



『マザーツリー 森に隠された「知性」をめぐる冒険』
スザンヌ・シマード著より

ファミリー・ツリー 仁木

でね、あの、第一声の時の演説は、
マザー・ツリーで終わりだったん
ですけどね、もう一步踏み込めば、
ファミリー・ツリーなんですわ。
ファミリー・ツリーっていうのは、
ファミリィ・ツリーっていうのは、
まあこれ、「家系図（譜）」とかね、
そういうふうに訳されるんだけど、
要するに、この一本の根幹によっ
て、すべてこう派生していくん
ですよ、枝がね。

みんな自分

そしたらすごい
じゃない。要するに、
みんな同じだとい
うことですよ。一緒
くたに。自分だとい
うことですよ。

我は、「私は、私じゃ
ない私」なんですよ。

それが**世界一家**なんです。す
べて、世界は一つの家であるとい
う、世界一家っていうことですよ、
ファミリー。
これもなんか「かっこいいな」と
かね、美飾でしょとか、なんかこう、
言葉の飾りでしょと思われるん
だけど、実際これ、数理的にこ
の統計（父母の人数）見てく
ださい。弥生時代以前の40世。
40世だったら、1世が30年だか
ら3×4＝12年で1200年、
平安時代かな。1200年前
で1兆いくらだったかな。でね、
世界人口になるんですよ。世
界人口と同じ。つまり世界人口
が私の親。生んできた祖先だとい
うことになるわけね。

世代	父 母 の 人 数
5 世	32
10 世	1,024
20 世	1,048,576
25 世	33,554,432
27 世	134,217,728
30 世	1,073,741,824
31 世	2,147,483,648
32 世	4,294,967,296
32.5 世	6,074,001,000
32.6 世	6,509,953,083
32.7 世	6,977,194,957
33 世	8,589,934,592
35 世	34,359,738,368
40 世	1,099,511,627,776
50 世	1,125,899,906,842,620
67 世	147,573,952,589,676,000,000

百垓（10の21乗）



全てと一心一体の町「世界一家」

それから40世が60世になったら
ね、67世かな。ちょっと経った
20世ぐらい経ったら、なんとね
100垓^がってね、10の21乗になる
わけね。これまさに天文学ですよ。

だから大天体っていうことは、あの星々も、宇宙人も、何もかも、全て自分だということがわかるじゃないですか。

ファミリー・ツリーというの、まさに仁木はファミリー・ツリーなんですよ。

そういう非常に可能性というか、素晴らしい町だなということ、僕はまあ、町長やつても、やらなくともいいんだけど、まあ面白い街だなと思うんですね。そういう意味ではね。

仁木町を救うことは日本を救うこと

だから、仁木町を救うことは日本を救うことって、「いやそんなちょっと大言壮語でしょ。大風呂敷でしょ」って思われるんだけど、実際そうなんです。

そういうことで、まあ本当に「日本で一番住みたい町」、仁木にしたいなっていうのは、希望じゃなくて、本当に現実に見える。やろうと思えば

きると思ってますね。

そのためには、真剣にそういう思いでやっていきたいし、僕は和合、あれですね、**大和**の**大和**っていう精神であれば、今まで散々僕言ってきたけど、それは何て言うかな、憎いとかそういうので批判したわけじゃなくて、「一緒にやりましょう」ということなんです。

新しい政治、新しい時代

だから、僕がもしですね、そういう立場になったら、僕は能力ないですね。面倒くさいですよ。いろいろ行政の組織に入ったことないから。それは得意な人にやってもらって、僕はその中心的な、そ

ういう大事なところを。歳も歳だし、やっていかれないから、そこをアドバイザーするとか、そういうことに徹して、皆さんと仲良くやりたいなというのが希望ですね。



「ありがとうございました。みなさんのご協力」

残念ながら、敗退しました。

不徳の致すところ、力の及ばぬところ、申し訳なく存じます。

思えば、半年かけての候補者選び、12人も候補者が去来し、ついには12日に、責任取って私が出ることに。思いも寄らない事でした。

14日に道庁にて表明、22日に告示、27日に投票開票と。実に1週間ほどの準備と5日間の選挙戦。厳しい短期間の中で、事務処理を含めて全てを揃えてやったことは奇跡的でした。

そして、それ以上に奇跡的だったことは、多くのボランティアさん、みんなの手助けでした。

次から次へと、町内町外から集まって頂いたこと、この場を借りて感謝申し上げます。

結果は残念でしたが、道はしっかり付いたように思います。

ありがとうございました。

また地道な歩みを、始めたいと思います。

2025年4月28日 宮下周平

※以下、「仁木風」WEBサイト内で、動画もご視聴いただけます。



そういう意味では、新しい政治というか、新しい時代の波が来たんじゃないかなとも思います。すいません。終わります。ありがとうございました。

仁木町の風力発電を考える会

仁木町銀山3丁目340 代表 穂積豊仁
TEL: 080-1863-1306

【仁木風HP】<https://niki-wind.main.jp/>



風の祈り—第28章

2025年5月2日発行
発行所：株式会社まほろば

NATURAL & ORGANIC
自然食の店 まほろば

札幌市西区西野5条3丁目1-1
TEL: 011-665-6624 FAX: 011-665-6689
www.mahoroba-jp.net

